

4月10日（水）「実践編」受け入れ審査会

【場所】 本郷キャンパス 産学連携プラザ 5F

【参加者】 UTEC 郷治社長、IPC 大泉社長、産学協創推進本部 部長 各務教授
宮脇

【報告チーム】

• 「Victor」チーム

- 電力がないアフリカ（特に、タンザニア）地域において、太陽光パネルで発電した余剰電力を貸出バッテリーにて電力源を持たない家庭に供給するビジネスを模索。「実践編」にて、プロトタイプを試作してアフリカにて市場調査を行うという提案。審査会での質疑応答
- 質問1. 本サービスの特徴は？
 - 回答1：携帯電話は普及しており、顧客の現在の使用料、その分布状況が管理会社でリモートで把握。日本でもオペレーションできる。
- 質問2. どの領域で把握できるのか？
 - 回答2：仕様上は30kmの範囲
- 質問3. 特許は？
 - 回答3：特許が有効な地域かどうかをまず考える必要あり
- 質問4. アフリカでの市場調査の方法は？
 - 回答4：同じタンザニアに進出しているワッシャが協力し、現地試験を実施してくれる手はず
- 審査結果：「実践編」に受け入れる。ただし、アイデアが特許性があるかどうか、TLOとも相談してほしい。

